

By Bethany Cummings



Japan's love of 'yuru-chara' mascots keeps campaigns alive

Mascots have long been used as an **effective** tool in advertising to connect businesses with people. Having fun characters **associated with** a brand helps it become more **lovable** and memorable.

When I **look back to** some of my favourite food brands in the U.K., almost all of them have mascots: PG Tips, Kellogg's, Coco Pops and so on. Even brands I didn't use, I remember **simply because of** the mascots they used in their TV **adverts** and campaigns, such as the Churchill dog or the Meercats from the

Compare the Market adverts.


Japan is **no exception**. In fact, there is a **whole world of adorable** and wonderfully **weird** mascots here, used not only to support sports teams and advertise brands and businesses, but to help promote local tourism, too.

These mascots are known as *yuru-chara*, a **contraction** of the words *yurui* (directly translated as loose, but in this case, meaning "gentle" or "**laid-back**") and "character."

The characters are generally cute or funny and are in some

means related to the place or thing which they are promoting. They are usually used in **merchandise** and are often invited as guests at related festivals and events.

There is even an **annual** competition, the Yuru-chara Grand Prix, where people can vote for their favourite mascots to determine that year's yuru-chara champion.

I wonder what this year's champion yuru-chara will be. There are so many, I can't begin to imagine! Do you have a favourite yuru-chara? 

ベサニー・カミングス

1996年、英国ウェールズ生まれ。子どもの頃に見たスタジオジブリ制作のアニメなどをきっかけに日本に興味を持ち、スコットランドのエディンバラ大学で日本語とアジア学を専攻。在学中に交換留学生として岡山大学で10カ月間学ぶ。2018年から東京都大田区役所で国際交流員として勤務し、文化や言語の架け橋として、外国人区民をサポートしながら大田区や母国の魅力を紹介している。区のホームページで「ベサニーの大田区絵日記」を公開中。
<https://www.city.ota.tokyo.jp/kokusaitoshi/kouryu/cir.html>

effective

効果的な、有効な

(be) associated with

～と関連する

lovable

愛すべき、可愛い、愛嬌(あいぎょう)のある

look back to

～を振り返る、思い出す

simply because of

単に～という理由で

advert(s)

(英国英語) 広告

no exception

例外ではない

whole world of ...

～の世界全体、～丸ごと

adorable

愛らしい、可愛らしい

weird

変わった、風変わりな

contraction

短縮

laid-back

のんびりした、のんきな

merchandise

商品、品物

annual

年に1度の、毎年恒例の

I wonder

～を知りたいと思う。I wonder why.(なぜだろう)のように思いをめぐらす様子を表す

対訳

日本の「ゆるキャラ」への愛は、市場の宣伝活動を盛り上げ続けます

マスコットキャラクターは、企業と人々をつなぐ広告の効果的な手段として、ずっと使われてきました。愉快なキャラクターをブランドと結び付けることで、親しみやすさが増し、記憶に残りやすくなります。

「PG Tips」や「Kellogg's」、「Coco Pops」など、お気に入りの英国の食品ブランドをいくつか思い出してみると、ほぼ全てにキャラクターがいます。自分とは無縁だったブランドでも、テレビCMやキャンペーンで使われていたキャラクターから容易に思い出出すことができます。例えば、(英保険会社の)「チャーチルドッグ」や、料金比較サイト「Compare the Market」の「ミーアキャッツ」です。

日本も例外ではありません。それどころか、この国には愛らしく、そして素晴らしく奇抜なキャラクターたちの世界があり、スポーツチームの応援、ブランドや企業の宣伝に限らず、地域観光促進のためのツールとしても使われています。

これらのキャラクターは「ゆるキャラ」と呼ばれています。「ゆるい」(直訳すると loose ですが、この場合は「穏やかな」「のんびりした」といった意味)と「キャラクター」の短縮形です。

これらのキャラクターたちはたいてい可愛らしいかユーモアたっぷり、宣伝の対象になる場所やものに何らかの関わりがあります。キャラクターグッズとして使われるのが一般的で、関連するお祭りや催しにゲストとしてよく招かれます。

「ゆるキャラグランプリ」という毎年恒例の大会もあり、お気に入りのマスコットに投票して、その年のゆるキャラチャンピオンを決めます。

今年の「ゆるキャラ」チャンピオンは何になるのでしょうか？ たくさんありすぎて、想像もつきません！ 皆さんには、お気に入りのゆるキャラがありますか？ (訳 田端節子)

注：「ゆるキャラグランプリ」は2020年をもって終了しました。